

「生きるだけ」で終わらせない。
子どもたちに「未来」を届ける。



インド・ブッダガヤの子どもたちへ
「未来を生きる力」を届ける挑戦が始まりました。
スポーツ・運動・アートを通して
子どもたちの可能性を引き出します。
応援よろしくお願いいたします。

【クラウドファンディング開催】

2026年6月1日～30日

▼詳細はこちらから



フォローやシェアで
応援をお願いします！



WEB サイト



レアーレワールドの公式 SNS では、
活動を随時報告しています。
ぜひご覧ください。



APPROVED SPECIFIED
NONPROFIT CORPORATION
**REALE
WORLD**

認定特定非営利活動法人 REALE WORLD
〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1317 番地 5030
TEL 0557-51-5227 FAX 0557-52-4240
nporealeworld@gmail.com

令和 7 年度
REALE WORLD
年次報告書

ANNUAL REPORT 2025

2025 年 4 月～2026 年 3 月



REALE WORLD
認定特定非営利活動法人

繋がりの中で 信じる力が育つ

2004年に始まった私たちの活動は時代とともに形を変えながら、今へと繋がっています。時代は移り変わります。私たちの身体が、生まれ、変化し、進化し変わり続けて今に繋がっているように。

それは、自然も、地球も同じです。すべては、繋がっている。繋がり、人と人の間にも確かに存在しています。

繋がりが広がるとき、私たちは地球や世界をひとつの「私たち」として捉えられるようになる。気候変動や争いも、遠い出来事ではなく“自分ごと”になる。そして、未来に向けた選択を一人ひとりが、手にしていく。

私たちは、そう信じています。

繋がりの中で、人は出会い、学び、感じ自分自身を見つめ直す。その過程の中で、自分の感覚を自覚していきます。

時に、人は傷つきます。それでもなお、自分の感覚を信じられるか。その力が、未来を大きく左右する。だからこそ私たちは「自分を信じる力」その目覚める場所をつくり、そのきっかけを届け続けます。

一人の信じる力は、やがて周りへと広がり大きな変化を生む力になる。

「みんな」になる。

一緒に活動し、大きな変化を生む力その最初の一人になりませんか。

認定 NPO 法人 REALE WORLD
代表理事 三好 彩



アントニオ小猪木さん
お笑いタレント

須藤元気さん
元総合格闘家 / 元参議院議員

二代目
スーパータイガーさん
プロレスラー



中村龍太郎さん
ロードバイクレーサー (2015年全日
本タイムトライアルチャンピオン)



白井寛人さん
ボディビルダー (IFBB 世界
フィ트니스選手権優勝)



ファン・ウェルメスケル
ケン・際さん
プロサッカー選手

総勢 116 名の方から応援メッセージ

One World, One Team, One Dream

みんなの思いが原動力

みんなの思いが、REALE WORLD の前進する力です。
ひとりひとり、人から人へ、繋がり広がっていくその活動は
やがて大きなうねりとなり、世界を動かし、未来を生む力になっていきます。
TAKE ACTION, MAKE THE FUTURE.
人と、自然と、世界と繋がり、私たちは「未来」を創造し続けます。



全員の紹介は
「REALEWORLD 応援メッセージ」
のインスタグラムから
ご覧いただけます！



右代啓欣さん
陸上十種競技
選手

三崎和雄さん
元総合格闘家 (PRIDE ウェル
ター級グランプリ 2006 王者)

堀江星芽さん
ビーチフラッグス選手
(2024 年世界選手権優勝)

柳下容子さん and
TOKYO GIRLS さん
チャリダー & プロチアダンスチーム

上田亜希子さん
舞台女優
(元劇団四季)

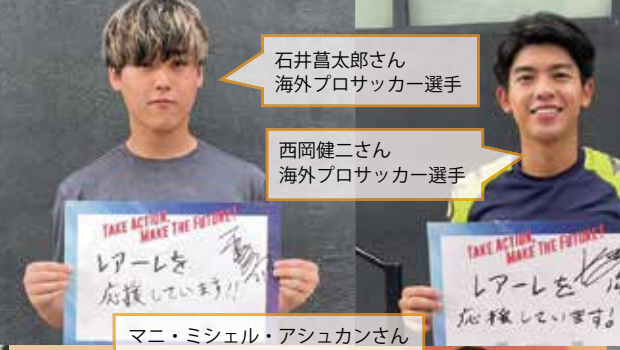


亀勇斗さん
海外プロサッカー選手

加治孝樹さん
フィリピン「Rudders
United FC」運営

中野みずきさん
元サッカー選手
元フットサル選手

森岡望さん
元日本オリンピック委員会医
科学強化スタッフ (体操競技)



石井蒼太郎さん
海外プロサッカー選手

西岡健二さん
海外プロサッカー選手



ハリ・カドカさん
元サッカー
ネパール代表

糸見涼介さん
陸上競技
バヌアツ代表監督

ラジュ・カジ・
サキヤン
元サッカー
ネパール代表



福本汐梨さん
元実業団ソフトボール
選手

JACK12 さん
世界的マジシャン

金城寛大さん
元海外プロサッカー選手

佐山駿介さん
元プロレスラー (CCW
カナディアンヘビー級王座)

大場克則さん
江戸走り
研究家

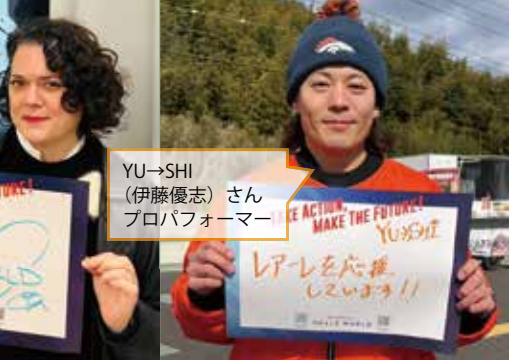


マニ・ミシェル・アシュカンさん
メンタル・パフォーマンスコーチ

木村快さん
海外プロ
サッカー選手



アンナ・ゴルドシュミットさん
パリのバッグブランド
「10.03.53」のスタッフ



YU→SHI
(伊藤優志) さん
プロパフォーマー



みんなと繋がる、ボールで繋がる！ 世界 196 カ国を巡るチャレンジプロジェクト

開催国の数

9国



最新情報は Instagram で

参加者

560人以上

組み立て式サッカーボール「MY FOOTBALL KIT」を活用した体験型プログラム「ONE BALL MAKE WORLD」。

想像力、創造力、コミュニケーション力、思いやり——人が生きていく上で大切なことであるにもかかわらず、不足している教育のエッセンスが、このボールひとつに詰まっています。2025 年、このボールを使った学びの場を、世界 196 カ国でつくりたいという想いから、レアーレワールドの挑戦が始まりました。

グループでひとつのボールを組み立てるこの

プログラムは、子どもたちの脳に刺激を与え、感覚を目覚めさせます。一緒に作り上げる過程で自然な交流が生まれ、国境も言葉の壁も超えてひとつになれる、それがこのプログラムの力です。

レアーレスタディプログラムのアクティビティとしても実施し、2025 年度はネパール、日本、フィリピン、カンボジア、クロアチア、ベトナム、ドイツ、ミャンマー、スペインの 9 カ国で開催。

ひとつのボールが、世界 196 カ国の子どもたちをつないでいきます。

「MY FOOTBALL KIT」は、株式会社モルテンとデザインオフィス nendo が共同開発した組み立て式サッカーボールのキットです。



- ①カンボジアのコンボンチャム州コーンミア郡クチャウ村のクチャウ小学校にて、完成後に全員で記念撮影
- ②ネパールのモラン郡にある小さな地方都市では、地元の SUKUNA FC のコーチたちの協力でプログラムを開催。200 人以上の子どもたちが集まる
- ③クロアチア・ザグレブのサッカークラブ NK ŠPANSKO でも開催
- ④スペインの CD グアタラハラにて、制作途中のボールを帽子がわりに記念撮影
- ⑤想像力と創造力を駆使して、ボール作りに取り組む子ども（ネパール）
- ⑥ボール完成に喜ぶドイツの Stegis Kicker の子どもたち
- ⑦「とうかな? とうかな?」 チームで協力しながらボール作りに取り組む子どもたち（クロアチア・ザグレブの NK Sutla-Laduč）
- ⑧ミャンマーの Dream Train では、FC REALE TOP チームの選手がボランティアで開催をサポート

REALE CUP



本気の舞台が、子どもたちを育てる！ 「第7回 U-10 REALE CUP 2025」開催

参加人数

119人

シューズなど
集まった数

156点

10月5日、伊東市民運動場にて、静岡県内7チーム、東京都・神奈川県から各1チーム、そこに在日ネパール人チームが加わり、計10チームで、「第7回 U-10 REALE CUP 2025」を、開催しました。

テーマは「本気と社会貢献」。子どもたちが本気で勝負に挑む中で、悔しさに涙し、傷つき、転んでも立ち上がる強さを身につける機会をつくることを目的に開催しています。

また、参加条件であるシューズ等の寄付を通

じて、自分たちの生活が当たり前ではないことを知り、誰かを思いやる心を育むことも、この大会の大きな目的の一つです。

子どもたちが「本気の間」を体験できるよう、勝者と敗者のコントラストが明確に生まれる舞台を目指し、大人たちも本気で準備し、応援し、歌い、審判を務め、まるでプロの試合さながらの空間を創り上げています。どんなことでも本気で頑張れる人へ成長してほしい——。そんな大人たちの強い願いが、この大会を支えています。



- ①大会への参加条件は、シューズなど1人1点、靴を買えない海外の子どもたちへの寄付
- ②大きなトロフィーや、豪華賞品、個人賞獲得を目指し、子どもたちは真剣勝負
- ③豪華賞品が用意されているのもレアーレカップの特徴。MVPにはヘリコプターフライトチケットが贈られた
- ④主賓から審判にボールが手渡され、試合の開始となる
- ⑤本気で挑むからこそ感じられる悔しさは、明日への力となる
- ⑥得点王の3名には、元Jリーガーからトロフィーと賞品が贈られた
- ⑦優勝チームの表彰は盛大に
- ⑧大人たちも全力で大会の成功をサポート

COFFEE PROJECT



▶ヒムカフェはオンラインショップで購入できます！
250g パック（豆・粉）、ドリッパックもご用意。
飲むたびに、誰かの“働く”と“育つ”を応援できる
コーヒーです。



WORLD FRIENDS PROJECT

買う・飲む・贈ることが社会貢献！
毎朝のコーヒーが、子どもたちの未来をつくる

手から手へ、人から人へ。
海外からたくさんの「ありがとう」が届いています！

学生ボランティア

39人

2025年9月、レアーパークにネパール産
コーヒー「ヒムカフェ」の常設スタンド
「REALE Deli」がオープンしました。

コーヒープロジェクトでは、ネパールの小さい
農家や立場の弱い女性たちの雇用を守るため、
現地で焙煎・パッキングまでを行い輸入。その
販売で得た利益で、経済的に厳しい環境で暮ら
す海外の子どもたちにサッカーシューズを届ける
活動や、夢の実現のため挑戦できる環境づくり
を推進しています。

買う・飲む・贈ることが社会貢献になる「コーヒ
ープロジェクト」。その認知を上げるべく、学生ボラ
ンティアによる学園祭・マルシェ出店をはじめ、
全国各地のイベントにも積極的に参加しました。

大学生ボランティアが、
マルシェや学園祭にてヒ
ムカフェを販売。若者に
社会貢献活動参加の場
を提供している



ヒムカフェは、ネパール
初のコーヒー会社として
創業したネパールコー
ヒーカンパニーのブラン
ドで、アメリカの USDA
認証を取得している環
境に優しいオーガニック
コーヒー豆

東ティモールに
お届けした寄付品

8224点

ネパール・フィリピン
& ベトナムの子ども
たちにお届けした靴

139足

ネパール・フィリピン
& ベトナムの子ども
たちにお届けした
ユニフォーム類

412枚

WORLD FRIENDS PROJECT は、日本
の子どもたちのモノを大切にする心を育
み、途上国の子どもたちが努力するきっかけを
作り、ゴミ問題の解決にも貢献するプロジェクト
です。

お預かりしたご寄付は、「自分たちで最後ま
で責任を持って届ける」が私たちのポリシーで
す。お寄せくださった皆様の想いと共に、東ティ
モール、ネパール、フィリピン、ベトナムの青
少年へお届けしました。

全国から集まったコンテナ 1 個分の寄付品を
届けるプロジェクトも遂に完了。お届け先は諸
事情によりタイから東ティモールへと変更になり
ましたが、多くの方々のご協力により無事お届け
することができました。

寄付品と想いを運び、
届けるまでを責任を持っ
て行う



本当に必要なものを必要としている
人に届けるため仕分け作業は真剣に



世界各国でプロ契約率100% 個々に合わせたメニューで「ヒーロー」を育成

自分の可能性に目覚め、努力し、才能を活かして生きる。
若者の挑戦と成長を支援し、その姿を通して子どもたちに夢と勇気を届ける、それが「ヒーロープロジェクト」です。

2025 年度は、10 名の選手が世界各国でプロ選手、代表選手として活躍。自分を信じ努力し続ける姿は、子どもたちにとって“憧れのヒーロー”です。

当団体の理事であり、本プロジェクトのリーダーであるサントス・シャフカラは、ネパールサッカー界のレジェンド。彼からの技術指導と共に、身体作り・食育・ボディケア・コーチングなど各分野の専門家が連携し、技術面から人としての在り方に至るまで、総合的にサポート。プロ契約率 100% を誇る育成プログラムです。



サントス・シャフカラ
ヒーロープロジェクトリーダー

ネパールサッカーリーグ得点王の記録を持つレジェンド選手。サッカーの技術にとどまらず、プロとしての姿勢やマインドまでをトータルに指導し、次世代のヒーロー育成に情熱を注ぐ。

ヒーロープロジェクトメンバー

三好 茜選手

ドイツ・ブンデスリーガ 2 部

FC REALE 卒業生。2025 年度はドイツ・ブンデスリーガ 2 部「VfR Warbeyen」でプレー。ゴールを決めて活躍。



栗山優也選手

ミャンマーで、マン・オブ・ザ・マッチ

大学 4 年時にヒーロープロジェクトに参加。2025 年度はブータンプレミアリーグ「Samtse FC」、ミャンマーナショナルリーグの「Yarmanya United FC」でゴールキーパーとして活躍。ミャンマーでは、マン・オブ・ザ・マッチを獲得。



Kiran Chemjong 選手

ネパール代表正ゴールキーパー

ネパール代表キャプテンとして国際試合で活躍したほか、2025 年度は、バングラデシュプレミアリーグ「Bangladesh Police Club」、その後モルディブのトップリーグ「Victory Sports Club」で活躍。



山口悠太選手

週間ベスト11 は 9 回、
マン・オブ・ザ・マッチは 4 回選出

2025 年からヒーロープロジェクト参加。8 月、フィリピンフットボールリーグ「Don Bosco Garelli United」でプロデビュー。25/26 のシーズンは週間ベスト11 に 9 回、月間ベストイレブンに 2 回選出、マン・オブ・ザ・マッチを 4 回獲得とプロ 1 年目にして大活躍。



豊島基矢選手
クロアチア 4 部

2025 年からヒーロープロジェクトに参加。クロアチア 4 部「NK Kamen Podbablje」にてプレー。チームの要としてファンから支持されて活躍。



三好玄氣選手
ドイツ 5 部

FC REALE 卒業生。2025 年度から、ドイツの「FC Duren」にてチームを勝利に導くミッドフィルダーとして活躍。



山岡大樹選手
ポーランド 6 部

FC REALE 卒業生。2024 年から引き続き、ポーランドの「GKS Grunwald Ruda Śląsk」にてレギュラー選手として活躍。



Abhishek Limbu 選手
ネパール代表

ネパール代表ディフェンダー。2025 年度は、バングラデシュプレミアリーグ「Rahmatganj MFS」にてプレー。



Ayush Ghalan 選手
ネパール代表

2025 年からヒーロープロジェクトに参加。2025 年度は、バングラデシュプレミアリーグ「Bangladesh Police Club」にて活躍。



Rohan Moktan 選手
U-20 ネパール代表

FC REALE NEPAL 卒業生。2025 年度、U-20 ネパール代表に選出。

FC REALE JAPAN

Junior～Top



TOP Junior

試合風景や活動の様子を Instagram で発信中。ぜひフォローして、選手たちの挑戦を応援してください

目指すは、世界！ 本気の努力で“本物のヒーロー”を目指す

小学生・社会人

75名

東駿河湾リーグ
1部

1位

FC REALE JAPAN は、「HERO PROJECT」の一環として活動するサッカークラブ。小学生対象のジュニアチームと、中学生から社会人で構成されるトップチームが、サッカーに本気で取り組み、選手として、人として成長すべく日々練習に励んでいます。

トップチームは 2025 年度、東駿河湾リーグ 1 部で優勝、その後5支部リーグも全勝で突破。3年連続で昇格を果たし、静岡県リーグ進出を果たしました。ピッチ外でも、農業支援や地域イベント支援、海外でのサッカークリニックなど

活動の場を広げています。

サッカーに本気で取り組み、国内のみならず海外でも社会貢献活動をするトップチームの選手たちの姿は、ジュニアチームの子どもたちにとってまさに「ヒーロー」であり、最高の教科書です。

ジュニアチームの子どもたちは、英語クラス、食育指導、ラジオ出演など幅広い体験を通じて社会性を育みつつ、目標を達成する力や世界で活躍できる力を身につけ、明日の「ヒーロー」を目指しています。



- ❶本気の勝負だから、勝った時の喜びも絶大
- ❷FC REALE では、元ネパール代表のサントスコーチのパーソナルセッションが受けられる
- ❸地元の清掃ラリーなど、社会貢献活動も積極的に行う
- ❹まるで兄弟のようなレアーレキッズたち。小さい子の面倒を見るのはFC REALE では当たり前
- ❺夏合宿先では、農業支援活動にも携わる
- ❻トップチームの選手の海外ボランティア活動として、ミャンマーで「ONE BALL MAKE WORLD」プログラムとサッカークリニックを実施
- ❼ジュニアの選手たちは、海外で活躍することを視野に、コミュニケーションとしての英語を学ぶ



FC REALE TIMOR-LESTE

運命的な再会から FC REALE 東ティモールが誕生！

200 人



FC REALE 東ティモールの Instagram

2002年のインドネシアからの独立後も、
貧困やインフラ未整備など多くの課題を抱える東ティモール。そんな中「子どもたちが夢を持ち挑戦できる場をつくりたい」という、東ティモール観光環境省局長・アントニオ・ダシルバ氏の熱い想いに応えるべく、2026年3月、三好代表とサントス理事が、東ティモールを訪問。

現地では、かつてサントス理事が国際試合で対戦した旧知の間柄である元東ティモール代表選手・マルコ・モライス・グスマオ氏が待つ

ていました。この運命的な再会が大きな後押しとなり、日本、ネパールに続き「FC REALE 東ティモール」が誕生しました。

活動のスタートは、牛が放牧される空き地での裸足のサッカー。あるのは寄付品のボール4つのみ。それでも、ボールを追いかける子どもたちの顔には希望が溢れています。私たちは、マルコ氏、GMのアントニオ氏、コーチのエドガー・サルメント氏と共に、FC REALE 東ティモールの子どもたちの明るい未来を創造していきます。



- ① 東ティモールは美しい海に囲まれた島国
- ② FC REALE 東ティモール結成を祝って、みんなで円陣
- ③ 首都ディリの道端で遊ぶ子ども
- ④ 女の子も一緒にプレー
- ⑤ サントスコーチとハイタッチする子どもたち
- ⑥ FC REALE 東ティモールのゼネラルマネージャーとして惜しみない協力をしてくれるアントニオ氏（写真向かって左）と、FC REALE 東ティモールの代表として共に活動してくれるマルコ氏（写真向かって右）
- ⑦ サッカーすることが楽しくて仕方ない少年
- ⑧ 牛が放牧される空き地で、4つのボールでスタートした東ティモールのFC REALE。裸足でも子どもたちは、元気いっぱい



FC REALE NEPAL の Instagram

サッカーが変える地域の未来 成長した選手たちが、次の世代を育てる

ネパール・マディ
ブール・マディ
および近郊の
小学生・社会人

150人

レアレカップの
(夏・冬2回開催)

520人

体育実技指導を
受けた児童

600人以上

FC REALE NEPAL は、ネパールの子どもたちが、サッカーを通じて「やればできる」を体感し、挨拶やマナーを身につけ、自立して生きる人間力を育む場。非行から青少年を守り、地域の未来を担う人材を育てることを目指しています。

ジュニアを指導するのは、大人になった卒業生たち。彼らは近隣学校の体育指導者としても活躍しており、その姿はまさにパイフオーワードそのもの。

年2回開催するネパールの「REALE CUP」では、夏冬合わせて500人以上の子どもたち

が参加し、試合を通して、悔しさや、喜びなどさまざまな感情を経験することで、大きく成長しています。

2025年度は、これまでの積み重ねが一気に花開いた一年でした。女性の自立と地位向上を目指す女子チームの始動。イラム郡でのレアレフットボールアカデミー開校。バル・ゴパル監督が男子代表チームのアシスタントコーチに就任。卒業生からはナショナルリーグ出場者やU-20・U-19代表選手も誕生し、育成の成果が確かな結果として表れています。



1



3



2



4



5



7

- ①女の子だってサッカーがしたい。女子がスポーツすることにまだまだ閉鎖的なネパールの社会を変えるべく練習に励む選手たち
- ②日本のクラウドファンディングで整備されたグラウンドで開催されるレアレカップには、多くの子どもたちが参加する
- ③明日はもっと強くなる! 毎朝練習に励む子どもたち
- ④レアレカップでは、優勝カップも用意。カップ獲得を目指して、本気の勝負が繰り広げられる
- ⑤FC REALE ネパール総監督が代表チームのアシスタントコーチに就任
- ⑥ネパールの朝は早い。午前5時半、薄暗い中でジュニアたちの練習は始まる
- ⑦男子チームはCディビジョン入りを目指して、練習を続けている



6



バレーボール シンポジウム

アスリートのセカンドキャリア オリンピックが経験や想いを次世代につなぐ

クリニック&講演会

参加者

国内 4回
ネパール 5回

国内 215人
ネパール 240人

スポーツには、人の人生を変える力があり、勝つための技術だけでなく、「あきらめない心」「夢を実現する力」そして「人としてどう生きるか」を伝えることができます。

レアーレワールドでは、アスリートのセカンドキャリアの場として、トップ選手たちが培ってきた経験や想いを、次世代へ伝える活動を行っています。

その一つが、オリンピック中村和美氏によるバレーボールシンポジウムです。

2025年度は、日本国内4か所、ネパール5か

所で、講演会やバレーボールクリニックを開催。ネパールでは、日本の大学生が同行し、スポーツを通じて、日本とネパールの若者たちが交流し、新たな価値観や夢に出会うきっかけとなりました。

「なりたい自分になるためには、努力が必要不可欠。努力とは苦しいものではなく、自分の可能性を広げる手段」

トップアスリートだからこそ伝えられる言葉や経験が、青少年の未来に希望を灯し、“自分の人生を信じて進む力”へとつながっています。



1



2



3



4



5



6



7



8

- ① 風船を使ったユニークなウォーミングアップ。バレーボール初心者も楽しくトライ
- ② 日本でもネパールでも選手一人一人に向き合い熱心に指導する中村さん
- ③ オリンピアンである中村さんの言葉に、真剣に耳を傾ける日本の選手たち
- ④ 日本のバレーボールクラブから寄付いただいたボールとそこに込められた想いをネパールの女性バレーボールクラブに届ける
- ⑤ どうしたらもっと上手になれるのか?ネパールの村の公立学校でバレーボールクラブの選手たちに、継続することが何より大事と語る中村さん
- ⑥ スポーツは言葉を超える。バレーボールを通してネパールの中学生と日本の大学生が国際交流
- ⑦ ネパール代表を夢見て、日々練習に励むネパールの少女たち
- ⑧ 選手たちのプレーが変化する。ネパールの選手たちに向けてアドバイスする中村さん



REALE PARK

繋がりの中で生きていることを感じ 共に生きる力を育む場

イベント開催数

7回



レアーレパークの最新情報は
Instagramで！

世界中のすべての人が、出会い、学び、感じることから、自分と、人と、自然と、世界と繋がっていく。すべてと繋がって生きている私たち。

「みんな」

その感覚が目覚める「きっかけ」の場所。それが、レアーレパークです。

ここにはジョギングができる広い空き地もあれば、サッカーグラウンドもあり、ジムもあり。秘密基地を作り始める子どもたちもいれば、犬の散歩をする人や木々の葉が風に揺れるのを眺め

ながら腰を下ろしコーヒーを楽しむ人もいて。

気がつけば、訪れた人たちは、居合わせた人たちやそこにある自然と、言葉で、心で、体で、交流を始めています。

2025 年度は、音楽イベント、国際交流、ものづくり体験、青空市、防災訓練など多彩な活動を展開。これまで以上に多くの方々がパークに足を運んでくださいました。

世界中から誰もが安心して集い、繋がりを感じ、共に生きる力が育まれる場所として、レアーレパークはこれからも進化し続けます。



- ①レアーレパークで開催されたネパールのレアーレ・ファミリアが来日しての交流会「ネパールロティの会」
- ②家族連れで訪れる方も多い
- ③レアーレパーク内に子どもたちが作った秘密基地
- ④レアーレパークのイベントにて、地元の方からミサンガ作りを教えてもらう子どもたち
- ⑤レアーレパークの池でおたまじゃくしを発見！親子で自然観察会
- ⑥子どもたちが裸足で駆け回れるレアーレグラウンド
- ⑦大塚商会ハートフル基金の支援によりトイレが設置された
- ⑧音楽イベントをはじめ、ものづくり体験会や防災訓練、餅つき大会など様々な催しを開催



「動きの中でしか得られない感覚」を 遊びながら身につける未就学児のための運動教室！

運 動感覚は、身体のバランス、心のバランス、
人との距離感のバランス、それらすべてと
つながっていて、人生に大きな影響を与えます。

「エンジョイクラス」では、回る、目で追いか
ける、バランスをとる、走る、跳ぶなど、多様
な動きを遊びの中に取り入れ、未就学児の運動
感覚を育んでいます。

担当するのは、教員として長年子どもたちと
向き合ってきた「しんちゃん先生」こと宮澤慎
太郎講師。

豊富な知識と経験をもとに、一人ひとりの成
長に寄り添いながら、子どもたちが「動きの中
でしか得られない感覚」を自分自身で体験でき
るよう導きます。

12月20日は、エンジョ
イクラススペシャル企画
として元日本代表・世界
選手権金メダリストであ
る柔道家・杉本美香さ
んをゲストに迎えて開催



毎週土曜日 15時～16時
レアーレグラウンドにて
開催

「走り」が変われば、パフォーマンスが変わる 試合で確実に結果が出せる！

2 025年度、ハト塾は初の海外進出を果た
しました。フィリピンにて、子ども向けク
ラスとプロサッカー選手向けクラスを実施し、い
ずれも大好評。プロ選手たちの試合結果にも、
確かな成果として表れました。

講師は、日本体育大学陸上部出身で、FC
REALE TOP チームの現役選手として活躍する
木崎逸斗氏。陸上競技の第一線で培った経験
をもとに、アスリートの土台となる「走る力」を
一人ひとりに合わせ、丁寧に指導します。

日本では毎週水曜日、小中学生から現役アスリ
ートを対象に開催し、2025年度は延べ180人が参加。
速く走れるようになるだけでなく、「試合でのパフォー
マンスが上がった」という声が多く届いています。

フィリピンでも大好評
だった走り方教室



試合での結果に
確実につながる指導で
選手からの信頼も厚い

参加人数

217人

参加人数

180人



開田高原農業 体験プロジェクト



REALE STUDY PROGRAM

地域課題解決 × 若者の自己発見！ 木曽町役場後援の参加者体験型プロジェクト！

開田高原農業体験プロジェクトは、長野県木曽町の開田高原を舞台に、若者が農作業に従事しながら、視野と知見を広げる体験型プロジェクトです。農村における慢性的な人手不足の解消や、都市と地方をつなぐ「関係人口」の創出にも貢献しています。

日常を離れ、自然豊かな山間地の古民家を拠点に、農作業を手伝い、地域の人たちと関わりながらそこにある暮らしの中に身を置く数日間。農業従事者の高齢化や過疎化など、日本の農業が抱える課題に直に触れ、課題解決へのアイデアはもちろんのこと、「自分に何ができるのか」「自分はどのように生きたいのか」を考える貴重な時間と場を提供しています。

土に触れ、汗をかく中で新しい気づきを得る



刈り取った稲穂を乾かす「はぎ」も子どもたちには格好の遊び場

人生が変わる体験を、 レアーレファミリーと共に！

レアーワールドのスタディプログラムは、海外でのボランティア活動や、異文化体験を通して、日本の若者に異なる価値観に触れる機会を提供しています。現地ではレアーレファミリーが参加者を家族として迎え入れてくれるため、観光では得られないリアルな現地の人々の暮らしに触れることができます。

レアーレキッズとの交流や、家庭訪問、学校の授業参加、一般家庭のお母さんから教わる料理教室、農家見学など多彩なプログラムを通じて、異なる価値観に触れることができます。

見ること、感じること、知ること。すべてが参加者の視野を広げ、人生を変える「発見」と「学び」へとつながっています。

どこへ行っても昔からの知り合いのように大歓迎



街中を歩きその土地の空気を感じてみる

参加した若者の数

55人



最新情報は Instagram で！

参加者

19人



現地の空気感をぜひ Instagram でご覧ください！

※主な参加対象は大学生ですが、本物の農業と開田高原の暮らしを体験したい親子のご参加も大歓迎です。

REALE ACADEMY



自分らしく豊かに生きるための「学びの場」を提供する

レアーアカデミーは、自分らしく生きるための気づきが得られる「学びの場」。

7月、元バレーボール日本代表の中村和美氏によるオンラインアカデミーを実施。悩みや迷いを乗り越えてきた現役時代のリアルな体験を語っていただき、夢の実現に向けチャレンジする参加者を勇気づける内容となりました。

9月と11月、レアーレワールド認定講師・加藤豪氏によるマネーセミナーを開催。節約術や投資テクニックではなく、「お金とどう向き合い、いかに豊かに生きるか」という本質的な視点を提案。9月はレアーレパークでリアル開催、11月はキャリアとライフプランをテーマにオンラインで実施。自分らしい未来を考えるきっかけを提供しました。

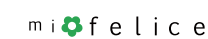
初のリアル開催となった加藤豪さんのマネーセミナー。実践的かつわかりやすい解説が好評だった



中村和美さんは、「プレッシャー、挫折、怪我を乗り越えた先の景色」と言うテーマで講演。オリンピックの言葉には説得力がある

2025 年度もたくさんのご支援をありがとうございました！

私たちの活動を支えてくださった企業・団体の皆様



有限会社アサカ興業
あそび心
A HOPE HEMP
アンシャレ
伊豆高原ジェラート工房 R65
インドレストランクベル
N インソール PARK
FFD DEVELOPMENT

えんのかま
かあさんの台所
カフェビートル
監物鮮魚店
CARER ACTION NETWORK ASSOCIATION
崔如琢美術館
CH1
J ギャラリー

NPO 法人 JUNSHIN SPORTS CLUB
紫玉書道会
白岩引越センター
白くまカフェ
株式会社千広企画
tako44.
ていーあんだー
ビストロ KEN

ビストロタント
ファミリーレストラン MEXICO
ファイテンショップららぽーと沼津店
ホテル暖香園
MAKA HOU
三島信用金庫伊東営業部
明治安田平塚支社

活動にご参加、ご協力いただいた大学、団体

聖心女子大学教育学科（東京都）
大東文化大学国際関係学部地域研究学会 NGO 研究班『学生団体 Plus+』（東京都）
NPO 法人 JUNSHIN SPORTS CLUB（静岡県）

木曽町役場（開田高原農業体験プロジェクト後援） 駐日ネパール大使館（レアーレカップ後援）

Special Thanks 伊藤慶幸・明子

2025 年度は、**80 名**の会員様に賛助会員として継続的にサポートしていただきました。
また、**100 名**以上の個人の方々からご寄付をいただいております。心より感謝申し上げます

※敬称略

2025 年度(令和7 年度)の会計報告

活動計算書

(単位：円)

一般正味財産増減の部

【経常収益】	
1 会費（正会員会費、賛助会員会費）	1,226,500
2 寄付（寄付金、ボランティア受入評価益）	33,661,579
3 助成金・補助金等	1,142,000
4 事業収益	7,934,606
5 その他収益	34,011
経常収益合計①	43,998,696

【経常費用】	
1 事業費 人件費	4,335,344
2 事業費 その他の経費	20,937,590
3 管理費	4,734,046
経常費用合計②	30,006,980

【経常外費用】	
1 固定資産除・売却損	0
経常外費用合計③	0

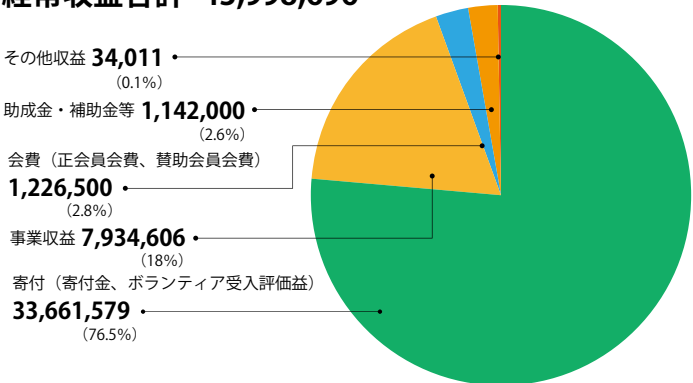
税引前当期一般正味財産増減額（①－②－③）	13,991,716
法人税、住民税及び事業税	120,600
当期一般正味財産増減額	13,871,116
前期繰越一般正味財産額	8,235,606
次期繰越一般正味財産額④	22,106,722

指定正味財産増減の部

寄付金⑤	0
一般正味財産振替額⑥	▲500,000
当期指定正味財産増減額（⑤＋⑥）	▲500,000
前期繰越指定正味財産額	500,000
次期繰越指定正味財産額⑦	0
次期繰越正味財産額（④＋⑦）	22,106,722

2025 年度収益の内訳 (単位：円)

経常収益合計 43,998,696



貸借対照表

(単位：円)

資産の部

1 流動資産	
現金預金	19,788,712
商品	692,312
売掛金	458,133
未収入金	230,000
前払費用	0
流動資産合計	21,169,157
2 固定資産	
附属設備	358,250
構築物	853,384
車両運搬具	162,674
工具器具備品	880,387
有形固定資産計	2,254,695
固定資産合計	2,254,695
資産合計	23,423,852

負債の部

1 流動負債	
未払金	1,143,432
未払費用	52,798
未払法人税など	120,600
預かり金	300
流動負債合計	1,317,130
2 固定負債	
長期借入金	0
固定負債合計	0
負債合計	1,317,130

正味財産の部

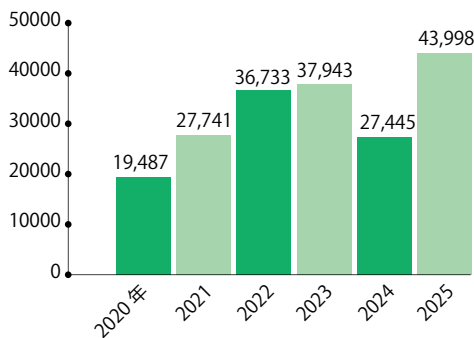
1 指定正味財産	
前期繰越指定正味財産額	500,000
当期指定正味財産増減額	▲500,000
指定正味財産合計	0

2 一般正味財産

前期繰越一般正味財産額	8,235,606
当期一般正味財産増減額	13,871,116
一般正味財産合計	22,106,722
正味財産合計	22,106,722
負債および正味財産合計	23,423,852

収益の推移 (2020～2025 年)

形状収益合計 (単位：千円)



財産目録

(単位：円)

資産の部

1 流動資産	
現金預金	
現金	現金手許有高 9,000,047
普通預金	静岡銀行伊豆高原支店 2,125,383
〃	静岡銀行 (グラウンド事業) 740,509
〃	静岡銀行 (ネパール等国際交流事業) 359,133
〃	ゆうちょ銀行二三八 5,020,842
〃	ゆうちょ銀行二三八 (振込口座) 1,585,121
〃	ゆうちょ銀行二三八 (物販口座) 403,398
〃	楽天銀行 205,311
〃	富士伊豆農協 348,968
売掛金	ヒムカフェ売上 458,133
商品	コーヒー豆、カップ等 692,312
未収入金	会費 @6,000 円 5 件分 30,000
〃	伊東市青少年健全育成活動応援補助金 200,000
流動資産合計	21,169,157

2 固定資産

有形固定資産	
附属設備	トイレ浄化槽 358,250
構築物	サッカーグラウンド用活力土 276,584
構築物	サッカーグラウンド用セメント 371,521
構築物	レアーレパーク敷地コンクリート 205,279
車両運搬具	サッカーグラウンド用乗用芝刈機 162,674
工具器具備品	空気清浄機 10,641
工具器具備品	検温サーモカメラ 51,818
工具器具備品	低濃度オゾン発生器 74,139
工具器具備品	ケア用マッサージ用具 160,540
工具器具備品	トレーニングジム器具 583,249
有形固定資産計	2,254,695
固定資産合計	2,254,695
資産合計	23,423,852

負債の部

1 流動負債	
未払金	3 月分給与・立替経費 822,577
〃	DC カード利用料 320,300
〃	freee カード利用料 555
未払費用	送料 52,798
未払法人税等	法人税等 120,600
預り金	保険料 300
流動負債合計	1,317,130

1 固定負債

長期借入金	0
固定負債合計	0
負債合計	1,317,130
正味財産合計	22,106,722

新ロゴに決意を込めて



2025 年度、REALE WORLD はロゴデザインをリニューアルしました。感覚を目覚めさせ、調和と希望のある「REALE WORLD (本来の世界)」の未来を創造する人を育て続ける。このロゴデザインは私たちの決意を象徴する新たなシンボルです。

レアーレワールドは
認定 NPO 法人です。
レアーレワールドへの寄付金は、
税制優遇の対象となります。

認定 NPO 法人は
NPO 法人全体の
約 2.7%

個人の方は税額控除または所得控除を選択できます。
法人が寄付をした場合は、一般寄附金の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額の範囲内で損金算入が認められます。

※寄附金控除を受けるには、確定申告が必要です。
(年末調整では控除できません)
※申告には当団体が発行した寄附金受領証明書が必要となります。
※詳細は、内閣府 NPO ホームページにてご確認ください。

あなたの支援が、
世界を変える力になる。

REALE WORLD の活動は、皆さまのご支援で成り立っています。あなたのアクションが、世界中の子どもたちに希望を届けます。



月額 1,000 円への
継続支援



500 円から、いつでも、
好きな金額で



100 円から気軽に
ご寄付いただけます (税制優遇の対象外)

●レアーレ・
ファミリア・
マンスリー

●今回支援する

●ソフトバンク
つながる募金